News Letter

2026年11月9日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
代表取締役社長　大友浩嗣
大阪市北区梅田3-3-5

千葉県四街道市と「災害時等における支援および協力に関する協定書」を締結

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市、社長：大友浩嗣）は、本日（2026年11月9日）、千葉県四街道市（市長：鈴木陽介）と「災害時等における支援および協力に関する協定書」を締結しました。



【締結式の様子】
左側：四街道市長　鈴木陽介様　　右側：大和ハウス工業株式会社 上席執行役員 更科雅俊

1．協定の目的

当社では、地震や豪雨などの災害発生時に近隣住民の安全・安心を守るため、開発した物流施設が所在する自治体と、「災害発生時における支援協力に関する協定」の締結を行っています。これまでに、全国24の自治体（対象物流施設「DPL」37棟）と協定を締結※1し、実際に住民の一時避難場所などとして活用してきました。

そしてこのたび、当社が開発したマルチテナント型物流施設※2「DPL四街道」（地上4階建て、敷地面積：61,940.49㎡、延床面積：142,535.00㎡）と「DPL四街道Ⅱ」※3（地上5階建て、敷地面積：128,724.33㎡、延床面積：305,488.59㎡）において、災害等が発生した場合に、同施設を一時避難場所や支援物資の一時保管場所および一時駐車場として提供できるよう、「災害時等における支援および協力に関する協定書」を締結しました。

※1. 2026年10月31日現在。
※2. 複数のテナント企業が入居できる物流施設のこと。
※3. 2026年9月1日リリース時は「DPL千葉四街道Ⅱ」。

【主な締結内容】

（1）本施設の共用部分を一時避難場所等として提供
（2）本施設の指定する部分を物資の一時保管および集積場所として提供
（3）本施設の未入居、未使用かつ指定する部分を一時駐車場施設として提供

２．締結日

2026 年 11 月 9 日（月）

３．支援協力を行う物流施設「DPL 四街道」「DPL 四街道Ⅱ」について

当社は、全国で BTS 型物流施設※4・マルチテナント型物流施設を開発し、これまでに 365 棟、総延床面積約 1,514 万㎡※5 の物流施設を手掛けてきました。千葉県においては、「DPL 千葉レールゲート」「DPL 松戸Ⅰ・Ⅱ」「DPL 浦安Ⅲ」など計 13 棟、総延床面積約 166.5 万㎡となる物流施設※6 の開発を手掛けています。

「DPL 四街道」および「DPL 四街道Ⅱ」は、東京中心部から約 40km 圏内に位置し、東関東自動車道や京葉道路へのアクセスに優れています。都心をはじめ千葉県全域や茨城県などの近隣県、「成田国際空港」へのアクセスにも優れており、国内外をつなぐ物流拠点としても高い利便性を有しています。

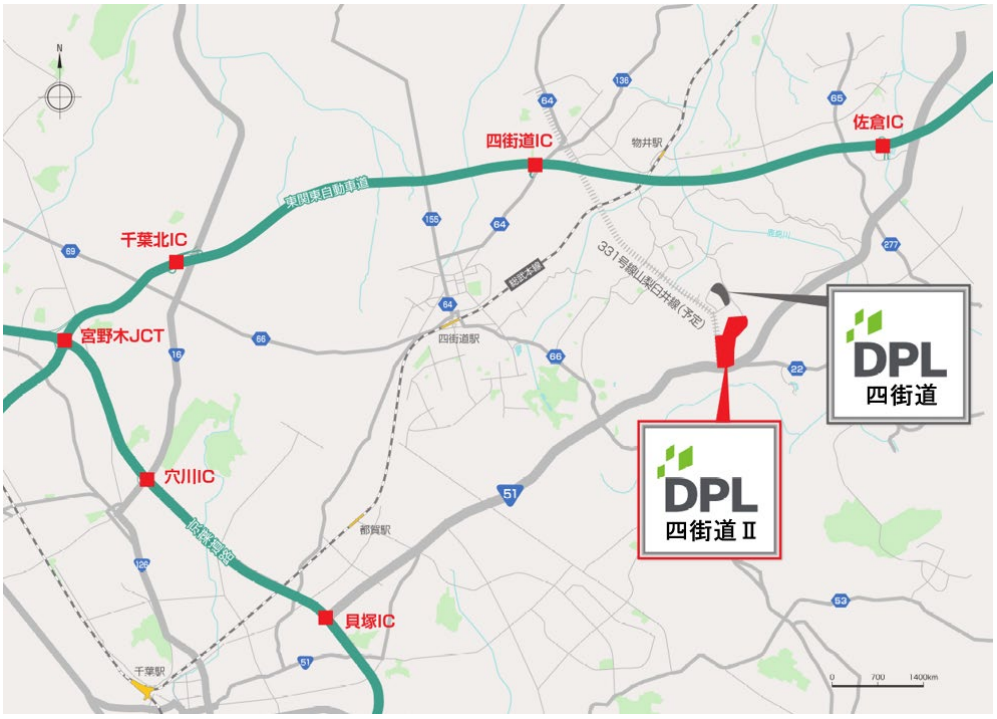
※4. Build to Suit のことで、特定のお客さま専用の物流施設のこと。
※5. 2026 年 3 月 31 日時点。施工中の物件含む。
※6. 2026 年 3 月 31 日時点。「DPL」竣工済み物件に限る。



【「DPL 四街道」】



【「DPL 四街道Ⅱ」】



【地図】

■建物概要

施　設　名	「DPL 四街道」	「DPL 四街道Ⅱ」
所　在　地	千葉県四街道市たかおの杜 10 番 1 号	千葉県四街道市たかおの杜 18 番 1 号
敷地面積	61,940.49 ㎡（18,737.00 坪）	128,724.33 ㎡（38,939.1 坪）
延床面積	142,535.00 ㎡（43,116.84 坪）	305,488.59 ㎡（92,410.29 坪）
賃貸面積	118,627.93 ㎡（35,884.94 坪）	243,615.40 ㎡（73,693.65 坪）
構造・規模	S 造+RC 造・耐震構造・地上 4 階建て	PCaPC 造・免震構造・地上 5 階建て
事　業　主	大和ハウス工業株式会社	
着　　工	2020 年 8 月 3 日	2023 年 9 月 1 日
竣　　工	2022 年 2 月 28 日	2025 年 7 月 31 日
お客さま お問い合わせ先	大和ハウス工業株式会社　東京本店建築事業部 TEL：03-5214-2200	

以　上

お問い合わせ先		
広報企画部	東京広報グループ	03-5214-2112
	広報グループ	06-6342-1381